熊本県心臓リハビリテーション地域連携パス 運用マニュアル

【目的】

- (1) 良質な医療を、効率的かつ適正に提供する。
- (2) 急性期、回復期、維持期の医療施設が情報を共有する。
- (3) それぞれの医療施設の役割分担を明確化する。
- (4) 患者に対して診療内容、治療経過、最終ゴールを明確化する。
- (5) パスの記載内容を収集・解析することで現状の問題点を把握し、今後の施策を検討する。

【対象】

・心大血管疾患リハビリテーション料で算定する全例

【基本原則】

- ・連携パス/各期別タスクは「紙運用」
- ・連携パスおよび各タスク記載のタイミングは、連携パス/タスクともに転院/自宅退院直前の状態とする。

回復期後期の場合、算定 150 日直前 維持期の場合、150 日以降/月に 13 単位後の心リハ終了直前

・入力者については任意とする。

各施設にて検討いただき、記載者の選定をお願い致します。 医師/看護師/リハスタッフ/薬剤師/管理栄養士 等

・心大血管疾患リハビリテーション料で算定するリハビリテーション終了時を、地域連携パス終了点とする。

【注意点】

- ・リハ開始となった時点でパス導入する。
- ・時期的区分は、心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドラインに準じる。



【熊本心リハ地域連携パスの構成書類】

① 連携パスオーバービュー

	心臓リハビリテーション連携パス					
氏名:	生年月日:	숙	月 日 年齢:	才	かかりつ	け医:
基本情報	パス適応 回目 性別: 入院日: 年 月 日 算定開!		ey person: 身長: 年 月 日 職業:		体重: kg (/) 介護保険:	身体障害者手帳 ()
フェーズ	急性期		回復期前期		回復期後期	維持期
担当施設	施設名: ()		施設名: (/)	施設名: ()	施設名: ()
算定疾患	*		○患者が運動療法の重要性を理解し○回復期後期のリハビリ通院先が決		○運動療法の重要性を理解し実践している○維持期のリハビリが決まっている	○運動療法の重要性を理解し実践している ○リハビリが継続されている
その他	糖尿病 □ 高血圧 □ 脂質異常症 □ 肥満 □ *1 運動習慣 (≥30分/回を≥週2回) □ 現喫煙 □ (ア	○患者が疾患教育教材 (ノート)を ○患者が自己管理ノートを持ってい ○パスに運動機能および新智能評価 ○パスにADLが評価されている ○パスに認知機能が評価されている	持っている る がされている	〇自己管理ノートを活用している 〇BWPが評価されている 〇心エコー: EF、 E/e 評価されている 〇運動機能および耐容能評価がされている 〇ADLが評価されている 〇侠患の増悪がない	○疾患教育教材 (ノート) を活用している ○運動機能および耐容能評価がされている ○疾病の増悪がない ○栄養管理が実行されている
外	●患者・家族側	_	包括的リハの重要性の説明あり(理想 医師		○栄養管理が実行されている ○服薬管理が実行されている ○対煙が達成されている ○自己管理が実行されている 包括的リハの重要性の説明あり(3職種以上 医師□ 看護師□ リハスタッフ□	プリハビリの重要性の説明がある 医師 □
来移行への阻	6. 心リハ以外で3つ医療機関温院がある		栄養士 □ 薬剤師 □ その他 □ () リハ継続先候補が調整されている 疾患教育資材 (ノート) 配付 自己管理ノート配付	済	栄養士 菜剤師 済 疾患教育資材 (ノート) 配付 自己管理ノート配付 自己接接 ロンコー評価	疾患教育資材(ノート)配付 □ 自己管理ノート配付 □ 運動機能一提力/SPPB □ 耐命・一CPX / TMT / 6MBID □ 心不全地思所見の確認 □
害因子	●環境側 該当 公共交通機関の利便性が悪い □ ●医療側 30-0リハ施行に関する医師の説明がない □ 20かかりつけ医で外来心リハが出来ない □ 30自施設で外来心リハが出来ない □ 30他施設での外来心リハ提案をしていない □	9.0	運動・耐容能の評価 ALの評価 認知機能の評価		運動機能一握力/SPPB	栄養指導 開業指導 禁煙指導 自己管理 可 支援必要 □

★急性心筋梗塞、狭心症、開胸術後、経カテーテル大動脈弁置換術後、慢性心不全、大動脈疾患、末梢動脈疾患にて間欠性跛行を呈する状態から選択 ※1.BMI: 25以上 ※2.HDS-R or MMSE: 20点/23点以下 ※3.CFS: clinical frailty scale: 9段階で記入(5-9:該当)

② 回復期前期タスク

	回復期前期(タスク詳細) リハサマリー : □ 有 □ 無 施設名 : ()
氏名:	生年月日: 年 月 日 年齢: 才
身体所見	」 動悸 : □ 有 □ 無 () 息切れ : □ 有 □ 無 ()
(/)	咳嗽 : 有 無 () 浮腫 : 有 無 ()
	創部発赤: □ 有 □ 無 () 浸出液: □ 有 □ 無 ()
	●血液生化学 (/):添付書類 (□ 同封有 □ 同封無 : 下記記載)
(/)	BNP pg/ml • NT- proBNP pg/ml
~	●心エコー (/):添付書類 (□ 同封有 □ 同封無 : 右記載) LVEF % 心内血栓: □ 有 □ 無
(/)	● 心電図 (/) Sinus rhythm □ 心房細動 □ 有 □ 無 その他 ()
	●ABI (/) 右 / 左
投薬	●β遮断薬 □ 有 □ 無
	◆握力 (/) 右 kg / 左 kg □ 未実施
	◆SPPB (/) 点 (パランス 点 · 歩行 点 · 起立 点) □ 未実施
	◆耐容能 (/) 6MWD
	◆CPX (/):添付書類 (□ 同封有 □ 同封無 : 下記記載) □ 未実施
	AT / PeakVO ₂ / PeakWR
ルリハ	VEvsVC0:Slope / AT.HR
70.97	※CPX以外の基準 : □ カルボーネン法 (K=
	◆ADL (/) FIM 点 / BI 点
	◆認知機能 (
	◆運動療法 □ ストレッチ / □ レジスタンスex / □ 歩行 m / その他 ()
	有酸素運動 : □ リカンベントエルゴメーター / □ アップライトエルゴメーター / □ エスカルゴ / □ トレッドミル™
	▼エルゴ : Watt / rpm / 分 ▼TM : km/h / 傾斜 % / 分 □ 未実施
患者教育指導	自己管理 : □ 実践可 □ 支援必要 (□ 栄養 □ 服薬 □ 運動 □ 体重 □ 禁煙)
備考	

※添付書類を同封する場合、転記は任意 ※書類行き先:自宅退院時は本人、転院は転院先の施設 ※記載タイミング:□転院・□退院の直前の内容(施設毎に記載する場合、回復期前期は合計2部になります。どちらか✓))

③ 回復期後期タスク

	回復期後期(タスク詳細) リハサマリー : □ 有 □ 無	無 施設名 : ()
氏名:	生年月日: 年 月 日 年齢: 才		
身体所見	動悸 : □ 有 □ 無 () 息切れ : □	有 🗌 無 (
(/)) 咳嗽 : □ 有 □ 無 () 浮腫 : □	有 🔲 無 (
	創部発赤: □ 有 □ 無 () 浸出液: □	有 🔲 無 (
検査	●血液生化学 (/):添付書類 (□ 同封有 □ 同封無 : 下記記:	己載)	
(/)) BNP pg/ml • NT- proBNP pg/ml		
~	●心エコー (/):添付書類 (□ 同封有 □ 同封無 : 右記載	或)LVEF % 心内血栓: □ 有	□ 無
(/)) ● 心電図 (/) Sinus rhythm □ 心房細動 □ 有 □	無 その他 ()
	●ABI (/) 右 / 左		
投薬	● β 遮断薬		
	◆握力 (/) 右 kg / 左 kg □ 未実施		
	◆SPPB (/) 点 (パランス 点 . 歩行 点 ·	・起立 点) □ 未実施	
	◆耐容能 (/) 6MWD m / 3MWD m / □		
	◆CPX (/):添付書類 (□ 同封有 □ 同封無 : 下記記載		
	AT / PeakVO ₂ / PeakWR		
心リハ	VEvsVCO₂Slope / AT.HR		
	※CPX以外の基準 : □ カルボーネン法 (K=) / □ 簡易法 /	「 」 ボルグ (拍/分 、Borg)
	◆ADL (/) FIM 点 / BI 点		
	◆運動療法 □ ストレッチ / □ レジスタンスex / □ 歩行	m / その他 ()
	有酸素運動 : □ リカンベントエルゴメーター / □ アップライトエルゴン	···· 「メーター / □ エスカルゴ / □ トレッ	ドミル™
	▼エルゴ : Watt / rpm / 分 ▼TM : km/	/h / 傾斜 % / 分	実施
	栄養指導 : □ 有 □ 無 / 禁煙指導 : □ 有 □ 無		
患者教育指導	服薬指導 : □ 有 □ 無 / 自己管理 : □ 実践可 □ 支援必要	Ę	
備考			

| ※添付書類を同封する場合も、可能な限り転記 ※書類行き先:本人へ渡し、利用するスポーツ施設等へ | ※記載タイミング:算定上限日(150日)、もしくはスポーツ施設等へ移行する直前

④ 維持期タスク

	維持期(タスク詳細)			施設名 :()
氏名:	生年月日:	年 月 日	T MP	7	
身体所見	■ 動悸 : □ 有 □ 無 (息切れ:浮腫:	□ 有 □ 無()
(/)	創部発赤: □ 有 □ 無 () 浸出液:)
投薬	● β 遮断薬 □ 有 □ 無				
ふリハ	◆SPPB (/) 6MWD ◆CPX (/) :添付書 AT / PeakVO₂ VEvsVCO:Slope ※CPX以外の基準 : □ カルボ・ ◆運動療法 □ ストレッチ / 有酸素運動 : □ リカンベン ▼エルゴ : Watt /	m / 3MWC 類 ((・歩行 m / m / m / m / m / m / m / m / m / m	記載) □ 未実施 去 / □ ボルグ (m / その他 (拍/分 、Borg)) ルゴ / □ トレッドミル™
患者教育指導	栄養指導 : □ 有 □ 無服薬指導 : □ 有 □ 無	/ 禁煙指導 : □ 有 / 自己管理 : □ 実	_	爱必要	
備考					

※添付書類を同封する場合も、可能な限り転記 ※書類行き先:各施設で保管。必要時事務局へ提出

※記載タイミング:3ヶ月に1回(2回目以降は6ヶ月に1回)

⑤ 患者様用連携パス

七名	リハビリの対象と 病気・手術	かかりつけ医	【
	入院: / ~	退院後~外来リハビリ: / ~	維持期: / ~
寺期	【施設名:	(リハビリ開始より150日以内)	(150日以降~)
	【転院先:	【施設名:	【施設名:
	○自身の病気について冊子を用いて理解している	○病状が落ち着いている	○病状が落ち着いている
	○自己管理ノートの使用方法を理解している	○自身の病気について冊子を用いて理解している	○自身の病気について冊子を用いて理解している
	○自分に合った運動の方法・目安を知り実際に行う	○自己管理ノートを活用している	○自己管理ノートを活用している
目標	○飲んでいる薬について理解している	○自分に合った方法・目安で運動をおこなってい	る ○自分に合った方法・目安で運動を継続している
110K		○禁煙ができている	○禁煙を継続できている
		○食事の工夫が行われている	○食事の工夫が行われている ○食事の工夫が行われている
		○薬の大事さを理解し飲み忘れがない	○薬の大事さを理解し飲み忘れがない
金査	○病気に応じた検査・治療を行います → マ	○血液などの定期検査を行います	○身体の機能評価を行います
平価	○筋力やパランスなど身体の機能評価を行います	○筋力やパランスなど身体の機能評価を行います	
軍動	○日常生活でどの程度活動できているか	○日常生活でどの程度活動できているか	
王 男/	確認を行います	確認を行います	
	○身体の機能を上げるための運動を行います	○身体の機能を上げるための運動を行います	
	○医師や看護師など専門職種より包括的リハビリと	○医師や看護師など専門職種より	○医師より包括的リハビリについての説明があります
	退院後のリハビリについて説明を受けます	包括的リハビリについて説明があります	
英明	○禁煙についての説明があります	○禁煙についての説明があります	○禁煙についての説明があります
200-9-1	○食事についての説明があります	○食事についてアドバイスと見直しがあります	○食事についてアドバイスと見直しがあります
	○お薬について説明があります	○お薬について説明があります	○お薬について説明があります
	○自己管理ノートの配布・説明があります	○自己管理ノートの配布・説明があります	○自己管理ノートの配布・説明があります

⑥ 自己管理用紙

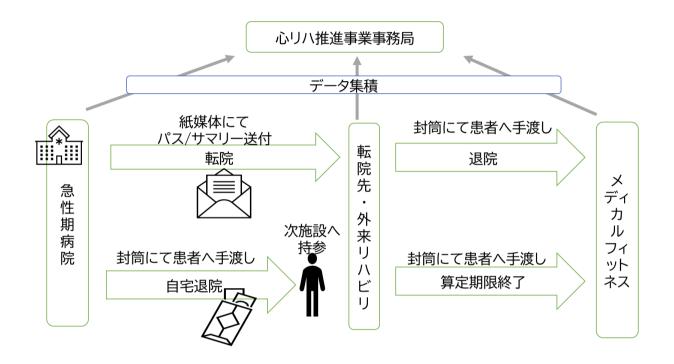


⑦項目記載説明書

ノハサマリー		リハビリサマリーの添付の有無をチェック		
	動性	3 - 4 - 7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		
	息切れ	労作時・安静時どちらかある場合有にチェックし、詳細を記入		
身体所見	咳嗽			
(評価日)	浮雕	有る場合、部位を記入		
	創部発赤			
	渗出液			
	血液生化学	血液検査結果を同封した場合は有チェックし、急性期病院での下記に数値の記入は不要		
44.4		添付書類が無い場合、BNPもしくはNT-proBNPどちらか記入		
検査 (検査日)	心エコー	心エコーレポートを同封した場合は有チェックし、急性期病院での右に数値の記入は不要		
(MED)	心電図			
	ABI	実施時のみ記入		
投薬	β遮断薬	服用の有無をチェック		
	握力			
	SPPB			
	耐容能			
		CPX結果を同封した場合は有チェックし、急性期病院での下記詳細の記入は不要		
		ATV02		
	СРХ	PeakVO2		
		PeakWR		
		VEC02Slope		
心リハ		Min .VE/VCO2		
		AT.HR		
		カルボーネン法、簡易法、ボルグ(CPX未実施の場合、参考にした指標にチェックし、数値を記入)		
		カルボーネン法(k:カッパーに関しては心機能と負荷量調整に関与するため、現時点での係数を記入してく		
		ださい)		
	ADL	FIMもしくはBIどちらか記入(両方でも可)		
	認知機能	MMSEもしくはHDS-Rどちらか記入(両方でも可)		
	運動療法	行っている内容について全てチェック		
		エルゴメーターは実施しているWatt/rpm/分を記入		
		トレッドミル (TM)は実施しているkm/h/傾斜/分を記入		
	自己管理 出来ているか支援が必要(疑わしい場合も含む)どちらかチェック			
包者教育指導		有無にどちらかチェック		
	禁煙指導	有無どちらかチェック		

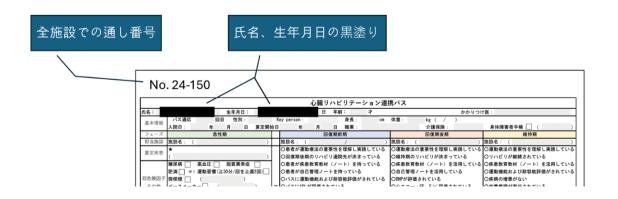
【基本的な書類の流れ】

- ・患者様と連携パス/タスク等の原本は一緒に移動
- ・持参もしくは送付されたパス/タスクに追記
- ・期別終了時に記載されたパスはコピーし、レターパックへ
- ・通し番号記載/氏名/生年月日⇒対応表 (Excel) へ記載
- ・一定数集まり次第、事務局へ郵送



【データ集積の方法】

・連携パスオーバービューと各期タスクのコピーを、レターパックにて定期的に事務局まで 送付する。その際、氏名と生年月日の黒塗りが必要。



・対応表 (Excel) を作成し、入力後、Excel ファイルに鍵をして事務局にメールで返送する。

通し番号	氏名	生年月日
24-150	心リハ太郎	1944年5月12日
24-151	心リハ花子	1952年11月11日

<送付先 熊本県心臓リハビリテーション推進協議会のメールアドレス> Kumamoto.CAREunited@gmail.com

- ·Excelファイルに鍵をする方法
- 1. [ファイル]、[情報] の順に選択します。
- 2. **[ブックの保護**]、**[パスワードを使用して暗号化**] の順に選択します。
- 3. [**パスワード**] ボックスにパスワードを入力し、[**OK**] を選択します。
- 4. [パスワードの再入力] ボックスのパスワードを確認し、[OK] を 選択します。

【運用手順について】

急性期病院 回復期/一般病院

- 1. 連携パス立ち上げおよび記載
- 2. 回復期前期タスク実施および記載
- 3. 患者様用パス説明
- 4. 転院/自宅退院時に通し番号対応表に記載
- 5. 連携パス/前期タスク印刷 郵送

※回復期後期へ移行しなければパスは終了。原本は患者様本人が希望すればお渡しする。 ※転院の場合でも、心大血管疾患リハビリテーション料算定継続でなければ、サマリーには 同封せずパスは終了。(熊本県59施設一覧表参照)介護保険サービス利用の場合も同様。

回復期後期 回復期/一般病院

- 1. 連携パスの追記 直接外来心リハから開始の場合、連携パス立ち上げおよび記載
- 2. 回復期後期タスク実施および記載
- 3. 患者様用パスの追加説明
- 4. 算定 150 日終了時に通し番号対応表に記載
- 5. 連携パス/後期タスク印刷 郵送

維持期

- 1. 連携パスの追記
- 2. 維持期タスク実施および記載
- 3. 終了時に通し番号対応表に記載
- 4. 連携パス/維持期タスク印刷 郵送

【問い合わせ先】

熊本県心臓リハビリテーション推進協議会事務局

Kumamoto.CAREunited@gmail.com

【運用開始日】

2024年6月より運用開始。